

報道発表資料
平成25年1月15日

平成24年度 気象庁関係補正予算の概要

気 象 庁

・ 本件に関する問い合わせ先
気象庁総務部経理管理官付
TEL 03-3212-8341 (内線 2169)

平成24年度気象庁関係補正予算の概要

総額: 4,986百万円

気象観測施設の強化等

4,042百万円

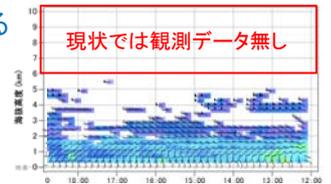
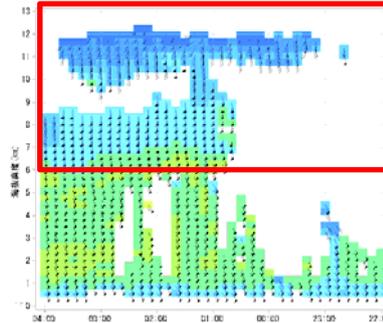
○局地的大雨等の監視・予測に欠かせないウィンドプロファイラを更新 3,685百万円

◆老朽化が進んだ観測施設(31箇所)を更新し、安定した観測機能を維持

◆観測高度を拡大(現状約6km→約12km)し、数値予報の精度を向上



新ウィンドプロファイラ
発達した積乱雲の動きを左右する対流圏中・上層の風を観測

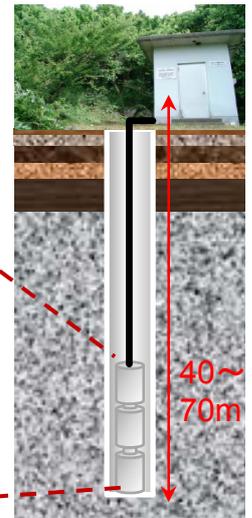
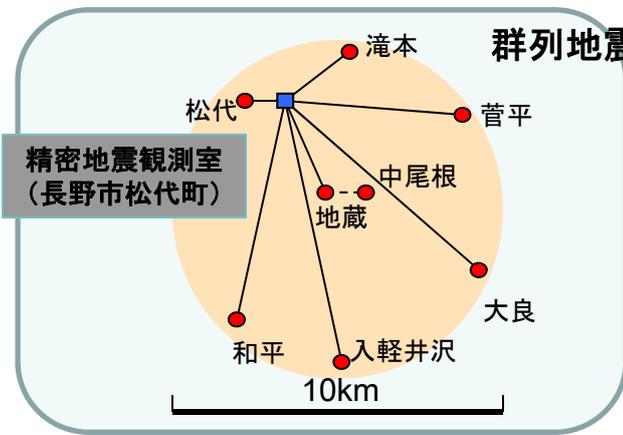


従来のウィンドプロファイラ

○遠地津波警報等の発表に欠かせない群列地震観測装置を更新 357百万円

◆老朽化が進んだ観測施設(8地点)を更新し、安定した観測機能を維持

◆加速度計の増設により、国内の巨大地震にも対応



気象観測施設の更新

943百万円

○台風、遠地津波のいち早い観測を支える南鳥島気象観測所発電施設を更新

◆老朽化・塩害により故障が頻発している南鳥島発電施設を更新し、各種の観測を安定して継続



整備から14年が経過

地上気象観測・高層気象観測



台風監視に必要な観測

遠地津波観測



南米沖で発生し、日本に襲来する津波をいち早く観測